

【講演3】「近代以降の大久野島の歴史の概説」 山内正之氏(毒ガス島歴史研究所)

	質問内容	回答
1	平和学習としての大久野島のために動かれている「地域の方」とはどの地域の方なのでしょうか？	大久野島に行って講演や戦争遺跡案内をしている人は竹原・三原の方が多くいますが、呉、東広島・広島から来られて案内される人もいます。私たちの毒ガス島歴史研究所の会員は現在90名ですが、県外の方もおられます。皆さん平和学習の拡大と「大久野の毒ガスの歴史」の継承に努力されています。
2	大久野島神社はかなり崩れてきていて参拝するにも危険な状態がかなりの年月が経っています。直さないのですか？	神社は誰の所有になるのか私も解りません。以前、世話をされていた忠海町の人たちも亡くなられたり、高齢化して世話ができないのと維持費がないのだと思います。
3	外国人観光客が遺跡巡りをすることがあるか？その時の反応はどうか？	私たちは平和学習に来る人の手伝いをしているので観光に来られる外国人が遺跡巡りをしているかどうか解りません。平和学習に来る中国や韓国の人たちに、通訳がついて案内することはありますが、皆さん熱心に関心を持っておられます。米国からの留学生も時々、通訳付きで案内しますが、皆さん熱心に話を聞いて、質問もたくさん出ます。
4	瀬戸内海の島々の砲台は、外洋(南)側を向いていることが多いのですが、大久野島はなぜ北側を向いた北部砲台があるのでしょうか？	良くわかりませんが、忠海側と大三島側、どちらの海峡も狙えるようにしてあったと思います。大久野島の周りの海を航行する艦船を撃沈するために造られていました。砲台の近くにあった司令塔から指示が出て狙う準備をしていたと思います。しかし、瀬戸内海には敵艦艦船は来ませんでした。
5	山内さんは平和学習のボランティアとして精力的に活動されておられますが、それを引き継いでいけるような後継者の方などはおられるのでしょうか？	後継者と決まっているわけではありませんが、40歳代から70歳代まで、同じように平和学習の手伝いのできる方はたくさんおられます。ただ、20歳・30歳代の若い方がいないのが残念です。
6	竹原市役所が管理・運営している経緯は？	「竹原市役所が管理運営している・・・」という質問の意味が解らないので回答はできません。
7	まだ毒物の残留があり、人体に影響のある地域はどのくらいの面積なのか？	私にも解りません。1996年～1999年頃、環境省が調査され、必要な除去工事をされたことがあります。インターネットで調べてみてください。
8	県外の若い世代の人から大久野島の戦争遺跡をよく見学したいとの声があります。土砂崩れで立ち入り禁止の解除の目処は立ちそうですか？	土砂崩れで立ち入り禁止のところ以外で、しっかり平和学習はできるので、ぜひ、平和学習に大久野島に来て下さい。個人的な案内はしていませんが平和学習を目的とした10名以上の団体はボランティアで案内しています。詳しくは「大久野島から平和と環境を考える会」ホームページで案内しています。ホームページを見てください。

9	誰かが戦争を起せば、誰かが犠牲になる。戦争がなければ毒ガスを製造しなくてもよかった。毒ガス製造に関わった民間人も加害者にされていることへはどのようにお考えですか？(乃木大将を礼賛→軍に強制された→民間人が製造→被害者)の加害者	大久野島で製造した毒ガスを戦争で使用し、たくさんの外国人を殺傷した「加害責任」は使用した兵士だけでなく製造した民間人にも「加害責任」はあると思います。日本が戦争するという事は国民みんなの責任だと思います。
10	前身の休暇村が「くのしま荘」という名称だったことは知りませんでした。「大久野島」と「くのしま」とはどう違うのでしょうか？	私も正確には解りませんが、昔から地元の人は大久野島のことを「くのしま」と簡略化して呼んでいたもので、その名称を使ったのかもしれない。
11	毒ガス製造に関わってきた人は現在の大久野島の観光ブームについてどのように感じられているのか？わかる範囲で教えて欲しい。	私は毒ガス製造体験者ではないので解りませんが、体験者の人たちは、現在も大久野島の戦争遺跡を後世に伝えて行くにはどうすればいいかを真剣に考えておられます。私の想像では、大久野島の観光ブームによって大久野島の戦争遺跡が壊されたり、毒ガスの歴史が消えていくことを心配されていると思います。